

福岡県議会議員
えがわ俊彦 県政報告
Vol.8 SHUKO CHIJIN 修己治人

九年田の明日をつくる

冒頭に、福岡県は令和3年8月豪雨により、5年連続6回目の災害に見舞われました。国内では今回も、尊い命が奪われてしましました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。また、被災された方々にお見舞いを申し上げ、一日も早い復旧と、日常生活が戻ることを、心よりご祈念申し上げます。

9月10日に開会された、福岡県議会9月定期例会が、10月14日に閉会致しました。今議会では私自身初めてとなる、会派での代表質問の機会をいただきました。

その際には、地元大牟田市の「令和2年7月豪雨」による甚大な被害についても再度触れていたきました。各種要望活動に対するお見舞いを申し上げ、一日も早い復旧と、日常生活が戻ることを、心よりご祈念申し上げます。

長期化するコロナ禍において、ワクチン接種の推進と今後のコロナ対策の方向性も、引き続き重要な課題です。

新型コロナにおける感染対策の基本は、「マスクなどの飛沫対策」、「人流抑制」、そして何より「ワクチン接種」と言られています。

接種率も徐々に向上し、政府発表によると、9月14日時点でも2回接種を終えた人が全国のおよそ50・9%、福岡県では51・2%に達しています。その一方で、若者への接種はこれからが正念場です。最終的には個人の安心して生活できるよう、関係各位と連携し、環境整備・情報発信等しっかりと取り組んで参ります。

今後も応戦してくださる皆様方よりご鞭撻、叱咤激励を賜りながら、皆様方のご指導・信頼に感謝して参ります。

【強いつけて】
排水ポンプ車の配備の増強について
【えがわ質問】
福岡県議会議員
えがわ俊彦
9月議会 定例議会

【服部知事 答弁】
福岡県議会議員
えがわ俊彦
9月議会 定例議会

本格的な内水氾濫対策は、まだ計画段階の今、まだ重要ではありませんが、これまでの整備が重要になります。排水ポンプ車の配備の増強について、県民のみなさまの安心についての追加導入に係る必要性について、提案いたします。この排水ポンプ車をさらに6台導入し、体制強化を図りたいと考えています。この追加導入に係る必要性については、追加提案いたします。

皆様の事務所です。
気軽に立ち寄り下さい。



福岡県議会議員えがわ俊彦事務所

〒836-0047
福岡県大牟田市大正町1丁目9-1
KICHIビル2階
tel.0944-53-7533
fax.0944-53-5333
E-mail.toshihiko@egawa.love



皆様のご意見をお寄せください
永川俊彦ホームページ
<http://egawa.love/>

えがわ俊彦

検索

令和3年10月3日 藤丸敏 衆議院議員にコロナ対策について伺いました



(えがわ) 「はじめに、コロナ収束の見通しを、国としてはどのように考えておられますか?」

(藤丸敏 衆議院議員) 「10月の末には、約8千万人の国民が2度目のワクチン接種を終えます。そこから、穏やかな下降が始まると考えています。」

(えがわ) 「それに伴っての行動制限の緩和についてはいかがでしょうか?」

(藤丸敏 衆議院議員) 「9月で緊急事態宣言が解除されました。10月より行動制限の段階的な緩和が始まりましたので、12月には感染防止対策を徹底したうえで、ある程度普通の生活(年末年始の帰郷など)に戻していくのが現時点での理想です。」

(えがわ) 「率直にお伺いしますが、コロナ第6波は起こるでしょうか?」

(藤丸敏 衆議院議員) 「東大などのシミュレーションによると、行動制限を緩和していけば、現在が第5波だとすると、第6波は来るであろうと予想されています。だからこそ、マスクやパーテーションなどの飛沫対策を十分に行なうことが、より重要になってくると考えられます。」

(えがわ) 「国会議員として厚労省に対して、日頃から提言されていることは何でしょうか?」

(藤丸敏 衆議院議員) 「とにかく『分かりやすく伝えること』です。コロナに対しての情報を、国民の皆さんにもっとわかりやすく伝えることが重要と常々言っております。」

(えがわ) 「どういったことを分かりやすく伝えるべきでしょうか?」

(藤丸敏 衆議院議員) 「例えばインフルエンザとコロナです。コロナはインフルエンザほど強いウイルスではありません。インフルエンザは口や鼻から少量のウイルスが入るだけで発症します。そこで、ウイルスをやっつけるために免疫機能を高める発熱が必要となります。対して、コロナの場合はインフルエンザよりも強くはないので、インフルエンザよりも大量のウイルスが口や鼻から入らなければ発症しないということになります。そこで同様に発熱し免疫を高めていくことになります。」

(えがわ) 「免疫機能を高めるうえで発熱が必要となるのですね。」

(藤丸敏 衆議院議員) 「そうです。発熱し免疫を高めていくことで、体内に抗体が作られています。大体1週間ほどの期間で体内に80パーセントほどの抗体が作られ、徐々に回復に向かっていくということになります。」

(えがわ) 「では、ファイザー・モデルナ ワクチンの安全性について、様々な情報が溢れていますがご見解をお伺いします。」

(藤丸敏 衆議院議員) 「簡単に説明すると、コロナワクチンは人工コロナウイルスを薄めたものです。実際に蔓延しているウイルスを使ったものではありません。細かく説明すると専門的な知識や時間を有しますが、基本的には悪性に作用するものではないと推測しております。気を付けていただきたいことは、現在のネット社会において、情報は一瞬で世の中に拡散しますので、不確実・デマ情報に惑わされることです。」

(えがわ) 「ありがとうございます。では最後に、ワクチンの3回目の接種についてのご見解をお伺いします。」

(藤丸敏 衆議院議員) 「やはり、打たなければならないと考えます。ただし、まだ2回目の接種が済んでいない方もおられるので、年明けに向けて、国としてはその準備を進めているところです。」

(えがわ) 「今日は大変お忙しい中に、コロナ対策についての貴重なお話を聞かせていただき、ありがとうございました。」



